



内政

1. 野党連合、トロクエン地区補欠選挙の候補者としてスホコ氏を擁立

野党連合「民主改革のためのアンブレラ」(UDC)は、実施が予定されるトロクエン地区の国民議会議員補欠選挙に、ボツワナ国民戦線党(BNF)所属のケニス・マセホ・スホコ氏を候補者として擁立することを決定した。

(7日：ウィークエンド・ポスト紙)

2. 国家災害対策室、国家全土に洪水注意報

大統領府国家災害対策室は、降り続ける雨の影響で洪水が国内各所で発生し、道路や橋梁を損壊していることを受け、さらなる災害が発生する可能性があるとし、国民に対し注意喚起を行った。ボツワナ気象予報局は、2017年前半の雨期には、2000年の大洪水に匹敵する雨量が見込まれると警告を鳴らしている。

(10日：デイリーニュース紙、メヒ紙)

3. 野党BCP、電子投票に関し独立選挙委員会を提訴

野党ボツワナ議会党(BCP)は、昨年政府が導入を決定した電子投票に関して、独立選挙委員会を提訴する意向を示した。BCPは電子投票が憲法第32条3項に定められた「ballotによる投票の実施」に抵触すると主張している。

(13日：メヒ紙)

4. 野党連合、電子投票問題で各国に協力を求める

野党連合「民主改革のためのアンブレラ」(UDC)は各国公館に対し書簡を送り、電子投票導入阻止に向けた協力を求めた。書簡の中でハオラテ・UDC副党首は、2019年総選挙までに導入が予定される電子投票システムは、選挙における不正や不備を招く恐れがあるとし、民主主義の精神を侵害するものと非難、各国政府に対し本件への介入を求めた。

(15日：サンデースタンダード紙)

5. 凶悪犯18人が脱獄

14日、フランシスタウンのジェラルド・ステート刑務所から18人の囚人が脱走した。脱走した囚人の内15人がジンバブエ人で3人がボツワナ人であった。囚人は刑務所のフェンスを切断し逃走、16日までに3人が逮捕されたが、残りの15人は現在も逃走中。警察は、逃走中の囚人は凶悪犯罪を犯しているため、住民に危害を加える可能性が高いと注意を促した。

(18日：ガゼット紙)

6. 野党、補欠選挙に大勝

パラペのボイカエホ・マディバ区とツァボン北部区で地方議会議員の補欠選挙が行われ、両区共に野党が勝利を治めた。ツァボン北部区では、野党連合「民主改革のためのアンブレラ」(UDC)の候補者(当館注：アンドリウス・ンタウ氏)が勝利を収め、

独立からこれまで与党議員が選出されていたパラペの同区では、ボツワナ議会党（BCP）のエリア・ハバトウスイ氏が野党出馬候補として初めての勝利を収めた。

（23日：モニター紙）

7. ボツワナは最も汚職の少ない国

トランスペアレンシー・インターナショナルは2016年の汚職認識指数（CPI）を発表し、ボツワナは世界176カ国中35位にランクされ、アフリカで最も汚職の少ない国となった。また、同時に発表された民主主義指数（GDI）では、ボツワナは167カ国中27位であった。

（27日：デイリーニュース紙）

外交

1. マシシ副大統領の訪日

マシシ副大統領は日本政府の招待で訪日し、16日から5日間に渡って日本に滞在する。今回の訪日は、昨年11月の日本から同副大統領に対する旭日大綬章の授与に続くもので、滞在期間中、同副大統領と日本の閣僚・政府関係者との間で会談等が予定されている。

（16日：デイリーニュース紙）

2. ボツワナ・韓国、軍事協力協定に署名

訪韓中のショー・カティ・ボツワナ司法・国防大臣は、ハン・ミング・韓国国防部長官と会談を行い、軍のハイレベル交流の促進と防衛産業の協力について協議した他、「韓国・ボツワナ国防協力了解覚書」を締結した。また、ハン国防部長官はカティ・国防大臣に対し、北朝鮮核開発中止のための働き掛けに協力を求めた。

（19日：メヒ紙）

3. ボツワナ、ジャメ氏をガンビア大統領と認めず

ボツワナ外務国際協力省はプレスリリースを発売し、ガンビアの新大統領に選出されたアダマ・バロウ氏への政権移譲を拒否し続ける元ガンビア大統領ヤヤ・ジャメ氏を、今後、ガンビア大統領と認めない旨発表した。

（20日：デイリーニュース紙）

4. カーマ大統領AU総会を欠席

カーマ大統領は、多忙を理由に第28回AU総会を欠席する予定であることが明らかになった。同総会には代わりにマシシ副大統領が出席する予定。同総会で行われるAUC委員長選に立候補しているベンソン＝モイトイ外務国際協力大臣にとっては、大統領の選挙支援が受けられない形となった。なお、これまでカーマ大統領は就任以降一度もAU総会に出席していない。

（26日：メヒ紙）

5. ベンソン＝モイトイ外務大臣、AUC委員長選に敗退

30日、第28回AU総会において新AUC委員長選挙が行われ、チャドのムーサ・ファキ・マハマト外務・アフリカ統合大臣が新委員長に選出された。同選挙にSADCからの支持を得て立候補したベンソン＝モイトイ外務国際協力大臣は、第3ラウンドまで残るも、敗退した。

（31日：メヒ紙、ガゼッタ紙）

経済

1. 経済指標

1) ボツワナの主要経済指数

・経済成長率

2016年第3四半期の経済成長率は、前期比マイナス0.8%（同年第2四半期の経済成長率は、前期比0.0%）。

・インフレ率

2016年12月は3.0%（同年11月は2.9%）。

・為替レート（FNB）

2017年1月31日

1 プラ=0.092米ドル

1 プラ=1.236南ア・ランド

1 プラ=10.58円

2016年12月30日

1 プラ=0.091米ドル

1 プラ=1.253南ア・ランド

1 プラ=10.77円

2. ダイヤモンド産業

1) 堅調な2017年ダイヤモンド原石販売会

デビアス社は、2017年最初のダイヤモンド原石販売会をハボロネで開催した。昨年同時期の取引額は5.45億ドルだったが、今年は7.2億ドルの取引が行われた。また、昨年12月のダイヤモンド原石販売会の取引額と比較し70%増加した。

（27日：メヒ紙）

2) ルカラ社は採掘企業を新たに指名

ルカラ・ダイヤモンド社（カナダ）は、カロウエ鉱山のダイヤモンド採掘企業として、Aveng Moolmans社（南ア）の子会社であるMoolman Mining Botswanaを指名した。同

社は、これまで過去15年間、カロウエ鉱山でダイヤモンドの採掘を手がけており、今年3月より6年間の採掘を行う。

（27日：ボツワナ・ガーディアン紙，31日：ウィークエンド・ポスト紙）

3. エネルギー・資源

1) Shumba はドイツ企業と MOU を締結

ボツワナのエネルギー大手 Shumba Energy 社の子会社、Shumba Coal Trading 社と HSM Bergbau Africa 社（ドイツ）とが、石炭の輸出販売に関するMOUを締結した。これにより、2019年までの石炭輸出の体制が構築され、Shumba Energy 社は、同MOUによって、世界的な石炭市場へのアクセスを得ることになる予定。

（12日：メヒ紙，13日：ウィークエンド・ポスト紙）

2) Tlou Energy 社は 100MW の CBM 発電の RFP を受け取る

Tlou Energy 社（豪州）は、ボツワナ政府より最大100MWのコールベッドメタン（CBM）火力発電所建設計画に対する提案依頼書（RFP）を受け取ったことを発表した。

（14日：ウィークエンド・ポスト紙）

4. 通貨バスケットの見直し

ボツワナ銀行（中央銀行）は、主要貿易相手国の金融政策に対応するため、通貨バスケットの比重の見直しを行ったことを発表した。改定前は南ア・ランド：特別引出権（SDR）通貨=50：50の比率であったが、改訂後は南ア・ランド：SDR通貨=45：55の比率とした。（当館注：SD

R通貨は、USドル、ユーロ、英ポンド、日本円、及び人民元で構成される。）

（9日：ウィークエンド・ポスト紙）

5. ダイヤモンド販売の回復による国庫収入の増加

ボツワナ銀行（中央銀行）の最新の財政統計によると、鉱物資源のロイヤルティ及び配当金の増加により、国家予算は2016年7月～9月までの3ヶ月間で64億5000万プラの財政黒字となった。これは2012/2013財政年度以降、最も高い四半期の税収となる。

（13日：メヒ紙）

6. 民間企業、2017年は楽観的

ボツワナ銀行（中央銀行）の発表した民間企業の景況感に対する調査によれば、2016年と比較し、民間企業の2017年の景況感が改善されていることが明らかとなった。2016年第2四半期には43%の企業が景況感を楽観的に見ていたが、2017年の第1四半期はその割合が51%に上昇した。

（25日：ガゼット紙）

7. 政府、債券市場で40億プラを調達

政府は、2016年において財務省短期証券の発行により、債券市場で40億プラを調達した。調達した40億プラは、2016年度決算で予測されている60億プラの財政赤字に充てられる予定。また、政府投資口座の資金を残る20億プラの財政赤字に充てる見通し。（27日：メヒ紙）

8. カズングラ橋プロジェクトの契約締結

ザンビア政府は、中国企業である Anhui Foreign Economic Construction Group Company Limited (AFECG) とザンビア側のカズングラ国境におけるワン・ストップ・ボーダー・ポスト (OSBP) 施設に係る契約を締結した。アフリカ開発銀行が同施設建設に係る資金を融資し、カズングラ橋プロジェクトは2018年12月に完了する見通し。（29日：サンデースタンダード紙）